

秋晴れの下 そう快ウォーキング！！



ポイントで問題に挑戦の参加者



自分たちのペースで歩く皆さん

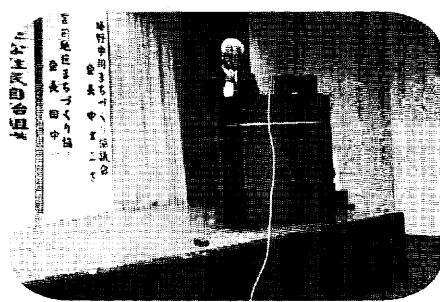
平成22年11月21日（日）に「なかがわウォーキング」を開催しました。

すばらしい秋晴れの天気にもぐまれ、66名の方の参加でウォーキングを行いました。中川コミュニティセンターを午後1時にスタートし、宮古～天花寺～中川北～中～南～旭が丘～新町4丁目～3丁目～2丁目とたどるコース約7 Kmを自分たちのペースにて歩いていただき、コース途中のチェックポイントでは、難問・奇問の問題に挑戦していただきました。普段は目に付かない景色・光景に思わぬ発見があったと喜んでいたり、自分が住んでいる街なのに知らない所がまだまだあったと関心していた方、最近引越しをしてきたので全てが発見でしたと目を輝かされていた方など、参加者の皆さんに楽しんでいただくことができました。私たちの街“なかがわ”を歩こう！の趣旨を理解していただき、多くの方に楽しんでもらえるようなウォーキングを目指していきたいと思っておりますので、ぜひ来年度はもっと多くの皆様の笑顔に出会えることを楽しみにしています。（体育部）

住民協議会で活動発表 嬉野中川まちづくり協議会



基調講演者及び発表者



活動発表する中津会長

平成22年12月19日（日）松阪市産業振興センターで住民協議会講演会がありました。山中市長の挨拶のあと、帝塚山大学院中川幾郎教授から「新たな住民自治組織の可能性について」の基調講演があり、その後、嬉野中川まちづくり協議会から中津正吉会長が「住民協議会の活動発表」を行いました。最後の講評では、中川教授から当協議会の活動に対して大変おほめの言葉をいただきました。基調講演を聞く中で更に、中川地区が安全・安心で明るいまちづくりを目指すには、新しい世代・新規参入者の参加が必要であると感じたところです。

「うまくつけたよ」もちつき体験



楽しく・一生懸命に餅をつく子供たち

3歳児から5歳児の子供が参加して、餅つき体験が1月30日（日）に中川コミュニティセンターで開催されました。5歳児は、蒸し上がったもち米を臼にいれ、小搗きのあと2班に分かれ、まちづくり協議会のスタッフの指導のもと、順番に少し小さな杵でつき始めました。その顔は真剣そのもので、体験が終わったあとでは皆さん満足した顔に変わっていました。保護者の方は子供の姿をカメラにおさめていました。

また、3歳児と4歳児は別の場所でスタッフが搗く餅つきのようすと餅を手で切るようすを見学しました。

その後、120名の参加者は、あずき餅・きなこ餅・おろし餅・カレー餅などをお腹いっぱいいただきました。

子供たちは昔から伝わる餅つき行事に参加して、得るところが多くありました。
（教育文化部）

「応急手当と救命処置講習」に38名受講



胸部圧迫による蘇生講習



AEDを使用した蘇生講習

2月6日（日）中川コミュニティセンターで松阪北消防署から7名が講師としてきていただき約3時間、心臓や呼吸が突然止まった人の命を救うにはどうすればよいかについて講習を受けました。受講内容は、救急車が到着するまで心臓や呼吸心肺蘇生法の胸部マッサージと人口呼吸及びAEDによる電気ショック使用などを参加者全員が実際に行いました。

救急措置で命を救えるのは、初めの3分だと言われています。

中川地区に救急救命の知識を持っている人が一人でも多くいていただけるよう、これからもこの講習会を続けて行きたいと考えています。（防犯防災部）